

Q 道の駅本体建築工事の進捗状況は

A 11月から12月に工事を発注し 平成28年度中のオープンを予定



井砂善榮議員

様々な手続き上の問題をクリアし、平成28年度中にオープンできるように鋭意取り組みたい。

問 国道4号および主要地方道浪江国見線の改良はいつからか。

当初の計画では、平成28年10月に完成、オープン予定と聞いた。完成のおよその見当は。

建設課長 国道4号については、桑折地区から藤田病院前の交差点付近までは、一部改良が始まっている。道の駅に接する部分は

町長 現在、建築確認を申請している。建築工事の発注は11月から12月ごろを予定している。

町長 なるべく早い機会に整備をして町の活性化に資するため、早く竣工できるように進めてきた。国

県との調整や予算など

起工測量、支障物件移転などの手続き中である。主要地方道浪江国見線については、8月31日に「森藤建設工業(伊達市)」と契約が完了し、今後現場に入る。

建設課長 藤田病院前の交差点は現状どおり確保される。JASTAスタンド前は現状に合わせて横断歩道を設置する。新設される町道116号との交差点部分は、平成28年度に向けた予算確保の要望をしている。

問 国道4号拡幅に伴い、歩行者の安全確保のために横断歩道を設置するにあたり、

たり地下歩道も要請したと聞くが、どのような要請をしているのか。

建設課長 国の管理部分で定期巡回を含め安全対策を行っていく。

町と指定管理先となる販売施設が安全対策に関する協定を締結し、安全管理に配慮していきたい。

問 また、地下歩道については、必要性や地元住民の合意などの状況、安全確保面での問題点の指摘もあり、まだ進んではない。今後さらに協議していく。

問 道の駅の物販コーナーが閉まるとコンビニだけが24時間体制になるが、深夜の防犯対策は。

町長 警察と連携し、巡回エリアにしてもらうなど人的な部分がまず必要。コンビニや宿泊施設には職員も常駐する。

また、外と中に防犯カメラを設置できないか検討の必要があると考えている。

道の駅に万全の防犯対策を

問 道の駅において女性や高齢者、児童生徒などの防犯対策が懸念される。

道の駅の具体的な防犯



工事の進み具合について説明を受ける議員
(道の駅造成工事現場事務所)

Q 有害鳥獣被害防止についての

今後の取り組みは

A 計画に基づいた対策を実施し安心安全な農業経営を確保する

問 近年、中山間地を中心に農作物の被害が深刻化している。鳥獣被害の状況は。

年度と比較すると件数で88件増、被害面積で0・6畝減、被害金額で97万8000円増である。

産業振興課長 平成26年度は218件で被害面積が8・6畝、被害金額が678万4000円。平成25

問 電気柵による漏電死亡事故が報道され町でも調査をしたが、その結果は。

小坂地区では今年度ワイヤーメッシュ柵を設置する予定だが、資材の購入先は決まっているのか。

産業振興課長 事業主体の地域農業再生協議会が県の助成を受けて実施する。資材の購入先は今後協議会の入札で決定される。

問 有害鳥獣被害は継続するのか。

産業振興課長 鳥獣被害の多い地域で今後説明会などを開催し、要望があれば積極的に対応したい。

問 全国的市町村で実施隊、捕獲隊の高齢化によって隊員の不足が生じ、隊員の確保と担い手の育成が急務になっている。町の隊員の現状と対策についての考えは。

問 町の基幹産業である農業を継承していくためにも鳥獣被害防止は重要だが、今後の町としての取り組みは。

町長 町鳥獣被害防止計画に基づき各種対策を総合的に実施するとともに、国県や近隣市町村、関係機関と十分連携を図りながら、安心安全な農業経営が確保できるように取り組んでいきたい。

阿部泰藏議員



今年も次々に捕獲されたイノシシ